



連絡や情報は下記へ
フリーダイヤル(10時~18時)
0120-442-742

ROUSAN 山ニュース

—第 40
〒162-0814
東京都新宿区新山川町5番24号
電話 03-3260-6331
Fax 03-3235-4324
E-mail jwaf@jwaf.jp
HP http://www.jwaf.jp
発行責任者 浦添 嘉徳

仲間とともに 新たな一歩を 踏み出そう!



東京の会議場に集まった評議員のみなさん

第34期第1回評議会を開催

2月20~21日

全国労山は、第34期の第一回評議会を2月に開き、今年道の活動方針・予算など提案した議案すべてが採択された。

コロナ禍の中、評議委員がWEBで会議に参加、発言と議案の採択ができるようにし会議を行った。評議会では述べ42名が発言、そのうちWEB参加の評議員の発言は半数だった。昨年二月に都道府県連盟から報告があった、全国労山の組織会員数は、前年度より688名減少し、1万

7千550名となり、30年前(1991年)の組織現勢に落ち込んだ。これは、コロナ禍の中で山行ができないという状況が続いたこと、会員の高齢化で会の活動ができないなどの理由によるもの。

それでも、10地方連盟は組織数を伸ばし、約90の会・クラブは会員を伸ばしている。また、評議会では、山行活動を活発にして、積極的な拡大目標を設定して取り組んでいる報告も行われた。

評議会では、「仲間とともに、新たな一歩を踏み出そう!」のスローガンを掲げ (2項につづく)

主な記事

- 2面 核兵器禁止条約の批准の決議
- 3面 労山基金 事務局長の記念講演
- 4面 山筋ゴーゴー体操講習会・Tシャツ
- 5面 全国自然保護集会・女性担当者会議
- 6面 若手のクライミング講習会
- 7面 会・クラブの活動コーナー(大宮労山)
- 8面 リニア工事反対署名国会に届ける

核兵器禁止を粘り強く訴えてきた労山

メスナー氏から賛同署名が届く

全国労山は1982年の総会で、「平和な社会でこそスポーツ・文化の発展が保障される」ことを確認、核兵器

頂した超人的クライマー、ラインホルト・メスナー氏から「取り組みの成功を祈る」とのメッセージと賛同署名が送られてきた。

「原水爆禁止国民平和大行進」では「平和と登山」の旗とともに、労山旗を地方

連盟の仲間がリレーし、広島・長崎まで行進してきた。核兵器禁止条約は「再び被爆者をつくるな」という被爆者の訴えと、人類を核兵器から守ろうという運動を継続してきた世界市民と国々による快挙です。

核兵器を全面的に禁止し、核兵器のない世界を実現するための核兵器禁止条約が1月22日に発効、「核兵器は違法なもの」とする国際法となった。

の使用も武力紛争に適用される国際法に違反するものであり、核兵器を全面的に禁止することになっている。禁止条約は、再び被爆者をつくるな、という長年の

本は、核廃絶に向けて世界を主導する特別な責任がある。世論調査でも禁止条約への参加支持は7割を超えており、これに込めるのが被爆国政府の責務でもある。

平和な社会でこそスポーツ・文化の発展が保障されることから、「平和と登山」の旗を掲げ、「原水爆禁止国民平和大行進」に参加している。

禁止条約は、

核兵器の使用は地球の自然環境、世界の社会経済的な発展、人類の生存、現在および将来世代の健康に重大な影響を与えることを指摘。被爆者および核実験の被害者にもたらされた容認しがたい損害に着目し、いかなる場合の核兵器

平和な世界、安心できる登山を実現するために 核兵器禁止条約に日本政府が署名・批准 することを求める決議

2021年2月21日

日本勤労者山岳連盟第34期第一回評議会

被爆者の訴えと人類を核兵器から守ろうという運動を継続してきた世界市民と国々による快挙である。唯一の戦争被爆国である日

る。しかし、菅義偉首相は世界の流れに背を向け、米国の「核の傘」を理由に条約参加を拒んでいる。日本勤労者山岳連盟は、

被爆国として、被爆者および国民世論の声にこたえ、核兵器禁止条約に署名し批准することを求めることをここに決議する。

(1項よりつづく)

会員数を伸ばした地方連盟、会・クラブの活動に学び、新たな一步を踏み出すことを確認した。

「登山時報」は全国労山の機関誌として位置づけて発行しているが、購読者は会員の約1割にしか過ぎない状況で購読料収入だけでは発行費用を賄えなくなっている。このため、評議会では、①発行費用を極力抑える、②「登山時報」の体裁を変えて全会員に無料配布を検討する、③「登山時報」の発行の諸問題を検討する会議を地方連盟の有識者を加えて6月に開催することが決定された。

その他、各種の担当者会議や全国集会の日程等を確認して評議会は終了した。



「全登研」集会は2022年に延期し

今年もZOOMによるプレ全国集会を開催

2月の評議会で2021年に「全国登山研究集会」を開催することが決定された。しかし、コロナウイルス禍は収まらず、感染力が強いといわれる変異型の陽性者が全国に広がって脅威を増している状況にある。

以上のことから、全国から一堂に集まる「全登研集会」は2022年に延期することにした。今年も「全登研集会」開催に向けて、ZOOMを活用したプレ集会とし「課題別講演会」を開催することとした。この「課題別講演会」は、数回開催することにしており、地方連盟及び会クラブからの要望も取り入れて開催する予定である。

第1回 全登研集会に向けての課題別講演会

● テーマ

● 労山基金（団体）の魅力と活用方法

「労山基金ってなんだ？」
「個人と団体」どこが違うの？と、疑問に思っている方も多いのでは？、みなさんの疑問にお答えする。

● 講師

川嶋 高志（日本勤労者山岳連盟事務局長）

● 日時 6月29日（火）

19時～21時（講演・質疑
応答含む）

川嶋高志事務局長は、昨年の全国労山60周年記念式典

で講演し、好評だった。

今回は、労山基金の改定により、団体加入の問題がうまく伝わっておらず、全国連盟事務局への問い合わせも多い。

このことから、第1回目に労山基金（団体）を会・クラブの運営にどのように活用すればいいのか、具体的な活用事例も含めて話しを行い、参加者からの質疑にも応える予定。

参加申し込み方法など

■ 参加対象

労山会員、会員外でも労山基金について関心ある方などの登山者所属団体

■ 参加方法

ZOOMによる講師の講演を視聴する。

■ 参加申込

参加申し込み書（全国労山HPからダウンロード）に①氏名、②所属団体、③連絡先・携帯等④メール・アドレス（必須）を記入の上
● ファックス（03-3235-4324）

● メール（jwaf@jwaf）

全国労山が主催する各種会議及び集会案内

全国機関誌会議

■日時 6月20日(日)

午前10時～15時

■場所 全国労山事務所1階会議室

■参加形態 新型コロナ禍のため、ZOOMによる会議参加も実施

■参加費用(交通費) 全国連盟の負担

全国連盟の機関誌として発行されている「登山時報」の今後のあり方について、各地方連盟の機関誌担当者・機関紙発行者などを対象に会議に参加してもらって議論する。

会・クラブの

基金担当者実務説明会

■6月26日(土) 北信越の会・クラブ対象

象(会場は長野県)

■7月10日(土) 東京都連盟の会・クラブを対象(会場は、全

国連盟事務所1階)

会。クラブの労山基金担当者を対象にした会議で、主に実務について全国連盟労山基金運営委員会が説明し、質疑応答を行う。

全国ハイキング

活動者会議

■日程 6月26日(土)

午後1時～5時

■場所 全国労山事務所1階会議室

■参加形態 事務所参加は20名を予定
ZOOMによる参加も実施

■参加費無料、交通費は各自負担

ハイキングクラブの役員などを対象に開催する。会議では、ハイキング委員会からの報告と大型ハイキングクラブから「現状報告と今後の課題」についての報告を受け、あとは自由討論。

全国救助技術

交流集会

■日程 7月3日(土) 13時開会

4日(日) 12時閉会

■宿泊・会場 福岡県立社会教育総合センター

■参加費 4000円(一泊三食・風呂あり、3日夕食、4日朝食、昼食は弁当)

■参加対象 救助隊員及び救助に携わる可能性のある会員。定員 50名

【交流集会内容】

・遭難事故発生時の連絡方法。携帯電話、スマホ、アマチャ無線機、SPOT、

GEN3、発煙筒

・遭難現場の特定方法。ココヘリ、ドローン、GPS、ビーコン

・危険な場所へのアクセス方法。要救助者への対応。

・労山以外の山岳遭難救助組織について。

・全国各地域の交流と懇親。

・ヒトココを使った搜索訓練。

全国自然保護講座 in 京都

■テーマ 北陸新幹線巨大隧道工事と

山岳自然環境を考える

■講演 榊原義道(北山の自然と文化を考ふる会代表)

■現地視察 南丹波美山町田美

■日程 7月10日(土) 13時開会

11日(日) 13時閉会

■宿泊・会場 ありうる京北(京都府セミナルハウス)

■参加費 7600円(一泊二食)

若手クライミング講習会

■日程 10月2～3日(土～日)

■場所 小川山金峰山荘

※参加申し込みなどの詳細については、全国労山HPか左記に連絡を。

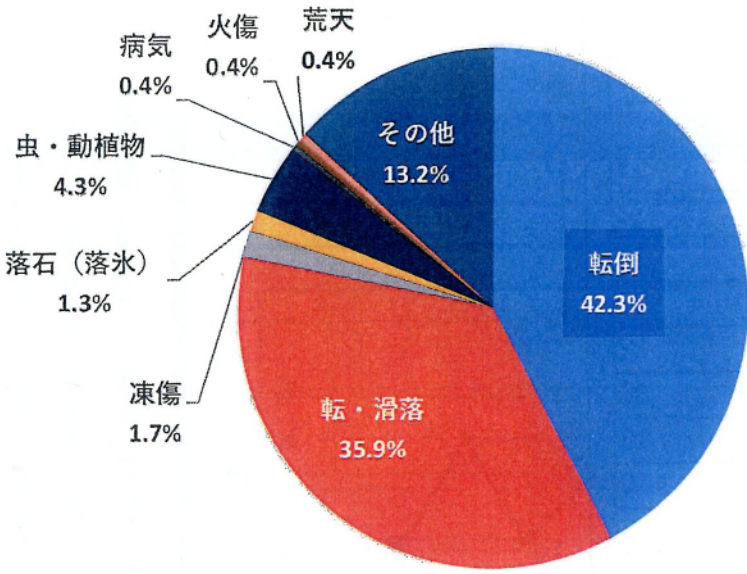
・電話 03-3260-6331

・メール jwaf@jwaf

「安全登山」に心がけ、夏山シーズンを楽しく

昨年 6〜8月に、労山内の遭難が急増 9月に緊急アピールを出す

コロナ禍の中で、思うような登山活動ができない状況にある。2020年の労山内の山岳遭難を見ると、死亡・行方不明者が5名で、この10年では2番目に少なくなかった。事故件数は230件、事故者数は236人で、この10年間で最少となった。しかし、緊急事態



2020年、労山内の原因別事故の状況

宣言下で4月は12名、5月は2名だったが、解除後の6月に10名、7月は21名、

8月は37名と前年並みのレベルに急増した。このため9月16日付で緊急アピールを発する事態となった。

体力に合った山を選び 適格な登山計画を

山岳遭難は、登山計画を立てる場合の事前準備、目的の山にあったトレーニングを行って防ぎたい。自治体もあるので注意すること。グループの体力に合った適格な登山計画と

万全な装備品の準備を心掛けること。県境の往来をしないように呼び掛けている。自治体もあるので注意すること。新しい新型コロナウイルス感染

コロナ禍の中に、登山者など運動を継続している人にとって明るいニュースがある。それは、イギリスのスポーツ医学誌「**登山が、コロナ感染症の重症化を防止する重要な行動に**」で、新型コロナウイルスによる重症化を避けるためには、「継続的な運動」が重要だとする調査結果が発表されたことだ。

約5万人の感染者を対象とした「運動不足の人」「何らかの運動をした人」「継続的な運動をした人」の死亡率は0・4%、入院率も3・2%で、他に比べ大幅に低かったという。

調査は、体力測定などを厳密に行った調査結果ではないようだが、研究者からは、定期的に運動することは、新型コロナウイルス感染症の重症化や合併症を防ぐため、個人が実践できる最も重要な行動かもしれない、と示唆している。

「エンジョイ登山教室」などで会員増



1年間で15名の入会で会員増に

コロナ対策をちゃんとして山行を実施

善通寺山の会 村上 誠美

新型コロナウイルスが
発生したと言わ
れ始めて約一年半が過ぎよ
うとされています。現在善通

寺山の会は基本的に、登山は通常の観光と違い、出発地から登山口までの車中での対策がちゃんとしていれば登山活動そのもので感染する可能性は低いだろうという観点で捉えています。したがって、車中においてはマスク、換気、消毒をうるさい位言っており、里での活動においても同様です。会員同士で感染させない事に一番気を使っています。

善通寺山の会では、昨年一年で15名の入会がありました。その要因として、第一に公開登山教室『エンジョイ登山教室』を設けたこと、第二に同時に会員拡大実行委員会を設け、年間を通して『エンジョイ』受

講者を多く公開山行に誘い、会の雰囲気や複数での山行の楽しさを実感してもらったこと、第三に2月初めの市民会館まつりでの写真展でそれらの山行の様子が展示し広くアピールできたことなどがあると思います。

『エンジョイ』受講者とその関連の名、25から30名、会員紹介ほか4名という結果を見れば、『エンジョイ』『拡大』『写真展』が単独で15名を達成できたわけではないことが分かります。つまり、それぞれのコラボレーションが上手い



「エンジョイ登山教室の」受講生

き、会全体の拡大の機運が高まったことによるものと考えています。しかしながら会員が増えれば増える程、数を維持する事の難しさも実感しています。会員拡大は、短期集中で頑張るのが秘訣で、増えることがあれば減ることもあると達観するのも大事かと思えます。

コロナ禍でも仲間が増える！

1年間で18名(21↓39名)の会員増に

コミュニケーションで会員に山行写真や山行報告を行う

スマイル・マウンテン・クラブ 早坂 直樹

昨今、山岳会 キモイ、メンドー、SNS
に勧誘すると「山 やYAOAPで知り合っ
岳会ってウザイ、 た友達と気軽に行きたい」



と言われる。「そんなことは
無い」と否定する人もいる
が、それは「誘いやすい人」
を勧誘しているだけだ。山
岳会の仲間を増やすには「誘

会者が少ない特徴がある。

メリットを強みにして

デメリットは改善する

山岳会に入るメリットは 関やグループが複数あり固
「生涯を通じての仲間がで 定したメンバーとしか行か
きる」「安全に登山ができ なくなる」「妬みが生れる」
る」「技術を教わる事がで 「気軽にやりたい人とガチ
きる」「事故や遭難時に対 にやりたい人との温度差が
処してもらえぬ」「労山基 ある」等。SMCはメリッ
金」等。デメリットは「会 トを強みにして、デメリッ
の恩恵を受けているので山 トを改善している。
岳会からの拘束がある」「派

コロナ禍でも

対策をしながら活動する

仲間とのコミュニケーションを保つ為、オンライン

ン参加と会場参加が選べる
ハイブリッド例会を開いて

結局は、普通に山岳会の
活動を行えば、活気が出て
きてクラブ員が笑顔になる。
笑顔は人を集める。

い難しい人の勧誘も必要だ。
現状を知ろうとせず「所詮
趣味だから」とやり難い事
をしないから会員数が減る。
山岳会離れが進み、コロナ
禍の中、スマイル・マウン
テン・クラブ(以下SMC)

いる。例会の内容が薄くな
る分、LINEなどコミュニ
ケーションツールを使い山
行写真や山行報告を行って
いる。山行は「軽登山」「登山」
「登攀」の分野に分れて、オー
ルシーズン多種多様な山行
を行った。活発な活動をし
ていれば退会者は減る。

新人クラブ員を
増やすには

ホームページ更新や各所
へのチラシは手段でしかな
い。作る事でいっばいにな
り、楽しさが伝わらなけれ
ば、ただの自己満足。HP・
チラシの担当者はクリエー
ターでなければならぬ。

当たり前のことを
当たり前に行う



- 1枚 1200円+送料100円
- 5枚以上注文すれば送料は無料
- ※生地は、ドライTシャツ（ポリエステル100%）吸汗・速乾です

山筋ゴーゴー体操講習会などで、山筋ゴーゴー体操の「Tシャツほしいね～」という声もよせられていました。全国連盟・山筋ゴーゴー体操推進委員会は、要望に応えるため検討してきました。デザインをどうするか議

論した結果、労山会員がボランティアでやっていただくことになり、Tシャツを作成して販売することになりました。Tシャツは一般用とサポーター用の2種類あります。



右側のTシャツが一般用です。
左側がサポーター用です。



■ 別紙の申込用紙で申し込んでください

- 申込用紙は、全国労山HPからダウンロードできます。
 - 問い合わせは、03-3260-6331 (am10:00 ~ pm6:00)
 - 申込先 mail=jwaf@jwaf.jp fax 03-3235-4324
- 日本勤労者山岳連盟・山筋ゴーゴー体操推進委員会



A4判120ページ
手渡しの場合は400円

申込は全国連盟事務局へ

全国労山の60年の歩み

一冊500円

(送料込)